

## 「学歴の壁」を越えて

サウジアラビアから帰国後、しばらくして安藤さんは安定した大企業の道を離れ独立を決意する。きっかけは目に見えない、けれど冷たいガラスの天井を感じたからだった。

いた安藤さんは、クライアントとの打ち合わせでその仕事を褒められた。「どの大学を出られたのですか」「それが、実は出てないんですよ」との瞬間、雑談のなごやかな空気が一変したようを感じた。

「その時は『本当に頑張ったんですね』という感じで話が終わつたんです。でも後日、課長から『次の打ち合せ、もう来なくていいぞ』と理由を聞くと『高卒がやるような世界の仕事じゃない』というニュアンスで、先方が伝えてきたというのです。だから担当を変えると、その一件がなくとも、昇進や役職に関して『学歴』という名の天井があることは理解していた。

「世の中はちょうどコンピュータが普及し始めた時代。私もコンピュータの専門学校に通いながら、学費を稼ぐために設計図面を描くアルバイトを始めていました。それが月給の2倍、3倍も稼げることが分かったので、これは自分で事業を立ち上げるいい機会だとサラリーマンに切符をつけました」

26歳で、ワールドマンションの一室から事業を立ち上げる。これがRitaXの原点となつた。

「創業から10年ほどは、厳しい時期も…というより正直、厳しいことがあります」と徐々に、徐々にへべりながら試行錯誤の日々が始まつた。改良・改善を繰り返しながら構造計算の構造BIM、デザインの意匠BIM、設備モデル、鉄筋モデル、現場支援BIMへと拡張。地道に改良も全く同じです。当初はスーパー手の高速パンチや胴廻し回転蹴りなども、誰かが創意工夫を重ねながら改良していくものであり、今も進化を続けている。BIM技術の改良も全く同じです。まずは導入してみよう」と

業界のDXを牽引するBIM/CIM技術だ。BIM(Building Information Modeling)とは、噛み碎いていえば建築物の3次元モデルをコンピュータ上で作成し、設計から施工、維持管理まで一貫して活用する技術のこと。安藤さん率いるRitaXはこの技術において、国内の構造設計業界でトップクラスの地位を確立。今やほとんどのスーパー手企業で、これは自分で事業を立ち上げるソフトがあると聞きつけ、しかも2013年にそれが日本でも発売されていると知った。難しいチヤレンジになるが、まずは導入してみよう」と

そこから試行錯誤の日々が始まつた。改良・改善を繰り返しながら構造計算の構造BIM、デザインの意匠BIM、設備モデル、鉄筋モデル、現場支援BIMへと拡張。地道に改良も全く同じです。当初はスーパー手の高速パンチや胴廻し回転蹴りなども、誰かが創意工夫を重ねながら改良していくものであり、今も進化を続けている。BIM技術の改良も全く同じです。まずは導入してみよう」と



①



②



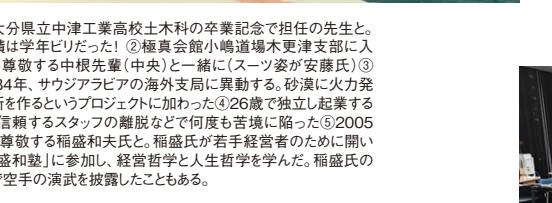
③



④



⑤



⑥

支えてくれたのは、私にとっては他でもない『空手』だったのだと改めて思います

身も心も捧げたと言つていいほど、

空手に打ち込んでいた時期もあったが、サウジアラビア支局への異動をきっかけに道場での稽古からは足が遠のいていた。再開したのは事業が軌道に乗り始めた33歳の頃。会社近くの体育館で極真空手の教室が開かれていることを知り、稽古台を覗きに行つたところ、教えていたのは偶然



工業高校でビリだった人間が、人生のどんな局面に立たされても間違わずに歩んでこれたのは、やはり空手と出会い、道場訓に出会ったおかげだと思ふ。道場訓の中の『生涯は修行なのだ』という言葉は、稲盛和夫さんの『心を高め、理念を高め続ける』という考え方にも通じる。その教えが私の律してくれて、今までの人生で大きな影響を与えてくれました。社員はみんな仲良しくして

いましたが、その中でも実力主義でいること、実力がなければ昇級はなく、年功序列でいう考え方もあります。評価されるのは学歴ではなく、目の前の仕事に対する姿勢と、ひたむきな努力、そして実力と成果だけです

【道場訓と稲盛哲学が交差する地点】

「自分には二人の師がいます」と安藤さんは常々公言している。一人は極真空手の創始者である大山倍達総裁。そしてもう一人は京セラとKD-Dの創業者で、JA-Lを再建したことでも知られる『経営の神様』稻盛和夫氏だ。

「お一人の教えは驚くほど共通して

いる」と、私は思えてなりません。

稲盛和夫さんは『至誠（しせい）』、つまり『誠を尽くす』といふ。一方、

大山総裁は『眞（まこと）を極める』

と説く。字は違いますが、どちらも要約すれば、眞面目に一生懸命、日々を誠実に生きることの大切さ。それ

を誠実に生きることの大切さ。それ

を誠実に生きることの大切さ。それ

を誠実に生きることの大切さ。

【道場訓と稲盛哲学が交差する地点】

RitaXの最大の強みは、建設

にも小嶋道場の先輩だった。

入門当初の頻度には至らなかつたものの、会社経営のかたわら地道に稽古を続けた安藤さんは、40歳で十人組手を達成して黒帯を取得。さら

に50代に入つてから三十人組手を達成して参段を取得した。

「経営では資金繰りが続かない時期もありましたし、『コンプライアンス』の言葉もない時代、顧客から理不尽な支払い拒否にあつたこともあります。信頼していた社員が辞めていく時のやるせなさは、表現する言葉が見つからないほどです。そんな時に必ず思い返したのが、道場での稽古であり十人組手の経験。ぶつ倒れるかと思うような、あれほどの辛さや苦しみに耐えられたのだから、今の苦しみもきっと乗り越えられるだろう。経営も空手と同じで、諦めたら最後。この不撓不屈の精神を教えてくれた空手と極真空会館小嶋道場小嶋会長には、心から感謝しています」

はまさに最澄のいう『一隅を照らす』ような生き方で、真を極める生き方こそが最終的に人生の成功者になる

と

両者が説く『眞』または『誠』と

一人の哲学をRitaXの社内制度に具現化したものひとつが、空手の帯制度を取り入れた賃金資格制

度だろう。社員は空手の帯の色と連動した色のストラップをそれぞれ身につけ、その色別にるべき業務と

自身の経営觀もまた、この二人の教えが交差する一点に集約されている。

【道場訓と稲盛哲学が交差する地点】

RitaXの最大の強みは、建設

ルを上げ、特許も取得しながら、諦めずに毎日改良を続けていった。そして、気づいたら国内トップレベルになり、スーパー手コンから『ぜひやってほしい』と依頼が来るほどになっていた

昨日よりも今日、今日よりも明日

。その仕事との向き合い方は、大山総裁が残した二武の道において千日を初心とし、万日の稽古をもつて極みとす』といつ言葉

稻盛氏が説く『地味な努力を一步一歩積み重ねていく』毎日の創意工夫をする』という言葉を真摯に受け止め、実行した結果だと安藤さんは言つ

「今やRitaXの技術者たちは、東京駅周辺の超高層ビルの構造設計も担えるレベルに。空手でいえば、白帯だった者が努力を積み重ね、気

づけば世界大会で強豪と戦うまでに成長したのと同じです。彼らのこと

を本当に誇りに思いますし、継続の精神を受け継いでくれていることに深く感謝しています」

## 真を極める生き方

2025年7月、RitaXは株式上場という一つの大きな目標を果

たした。その報を聞いた工業高校時代の同級生たちと地元の大分県中津で集まつた時、仲間たちからは「今こんな声が上がつたそうだ。

「お前が会社を作つていたのか

「設計事務所だつて?」

「ほとんど勉強してなかつたよな

。その表情には驚きと共に、どこか

誇らしげな気持ちも滲んでいた。

安藤さんは躊躇なく答えた。

「工业高校でビリだった人間が、人生のどんな局面に立たされても間違わずに歩んでこれたのは、やはり空手と出会い、道場訓に出会つたおかげだと思ふ。道場訓の中の『生涯は修行なのだ』という言葉は、稲盛和夫さんの『心を高め、理念を高め続ける』という考え方にも通じる。その教えが私の律してくれて、今までの人生で大きな影響を与えてくれました。社員はみんな仲良しくして

いましたが、その中でも実力主義でいること、実力がなければ昇級はなく、年功

序列でいう考え方もあります。評価されるのは学歴ではなく、目の前の仕事に対する姿勢と、ひたむきな努力、そして実力と成果だけです

【道場訓と稲盛哲学が交差する地点】

RitaXの最大の強みは、建設

「工业高校でビリだった人間が、人生のどんな局面に立たされても間違わずに歩んでこれたのは、やはり空手と出会い、道場訓に出会つたおかげだと思ふ。道場訓の中の『生涯は修行なのだ』という言葉は、稲盛和夫さんの『心を高め、理念を高め続ける』という考え方にも通じる。その教えが私の律してくれて、今までの人生で大きな影響を与えてくれました。社員はみんな仲良しくして

いましたが、その中でも実力主義でいること、実力がなければ昇級はなく、年功

序列でいう考え方もあります。評価

されるのは学歴ではなく、目の前の

仕事に対する姿勢と、ひたむきな努

め、そして実力と成果だけです

【道場訓と稲盛哲学が交差する地点】

RitaXの最大の強みは、建設

「工业高校でビリだった人間が、人生のどんな局面に立たされても間違わずに歩んでこれたのは、やはり空手と出会い、道場訓に出会つたおかげだと思ふ。道場訓の中の『生涯は修行なのだ』という言葉は、稲盛和